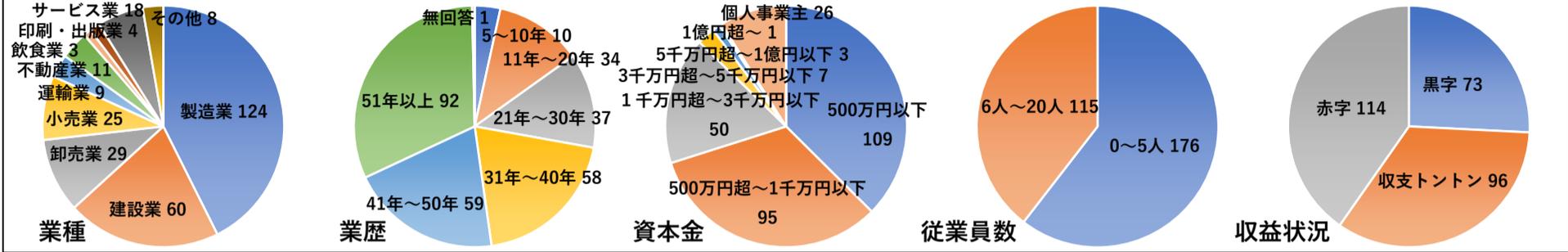


前期大幅に悪化した売上高DI、業況DI、採算DIが、今期さらに悪化している他、来期の資金繰りの見通しにも後退が見られ、厳しい状況が続くと予想される。

### 調査概要

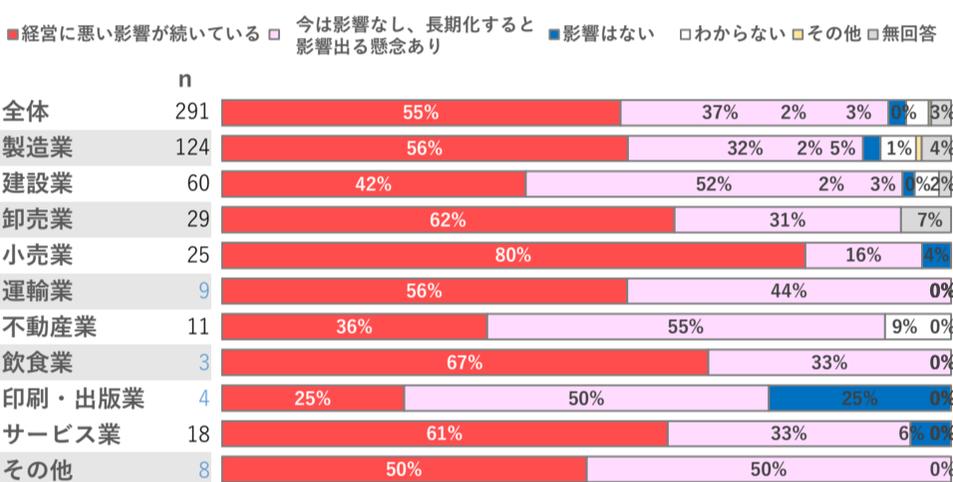
調査期間： 令和2年7月15日（水）～7月28日（火）  
調査対象： 会員事業所2,632件（市内小規模事業者：FAX有）  
調査方法： FAXによる送付、FAXによる回答  
回答数： 291件（回答率：11.1%）



### 新型コロナウイルス感染症に関連する状況について

- 「感染症の拡大による経営への影響」では、「経営に悪い影響が続いている」と回答した企業が過半数を占めた。業種別では、特に小売業に影響が強く出ている。
- 「事業継続と感染拡大防止対策」については、製造業や卸売業が「営業時間短縮・営業日数削減」を最も実施しているのに対し、小売業やサービス業、不動産業では「定期的な消毒・換気、検温等」の実施が最も高くなっている。
- 「ウィズコロナ、アフターコロナ対策」では、「健康やメンタルヘルスの管理」が検討、実施共に高め。一方、「既存事業の見直し・最適化」、「コスト削減・効率化」、「新規事業の開発」は、検討に比べて、実施が進んでいない模様である。

### 感染症の拡大による経営への影響



### 事業継続と感染拡大防止対策

※数値は比率(%)  
※上位3項目に色付け  
※n=10未満は参考値

	全体	製造業	建設業	卸売業	小売業	運輸業	不動産業	飲食業	印刷・出版業	サービス業	その他
時差出勤の実施	12	9	15	17	12	0	9	0	25	17	13
テレワークの実施	8	4	12	21	4	0	0	0	25	6	13
ローテーション勤務の導入	12	15	8	17	4	11	9	0	0	11	0
フレックスタイム制の導入による柔軟な勤務	4	4	8	0	4	0	0	0	0	0	13
オフィスの分散化	2	1	3	3	0	0	9	0	0	0	0
出張の原則禁止・制限	13	17	2	24	16	11	0	0	25	6	13
営業時間の短縮・営業日数の削減	39	44	22	69	48	33	27	33	50	22	25
会議の開催頻度・時間・人数の削減・制限	13	14	12	17	20	11	9	0	0	6	0
会議・稟議等のオンライン化	4	2	3	7	4	0	9	0	25	11	13
キャッシュレス等の電子決済の導入	5	2	0	3	20	0	18	0	0	22	0
店舗・オフィス等のレイアウトの見直し	9	5	8	10	20	0	36	33	0	11	13
店舗・オフィス等の定期的な消毒・換気、検温、手指等の消毒徹底	36	27	32	45	52	33	64	67	75	33	63
「新しい生活様式」に対応した商品・サービスの提供	4	2	2	7	12	0	0	0	0	11	0
特別な対応は取っていない	28	30	35	17	20	33	27	33	25	28	13
その他	7	6	7	3	4	11	9	33	0	6	13

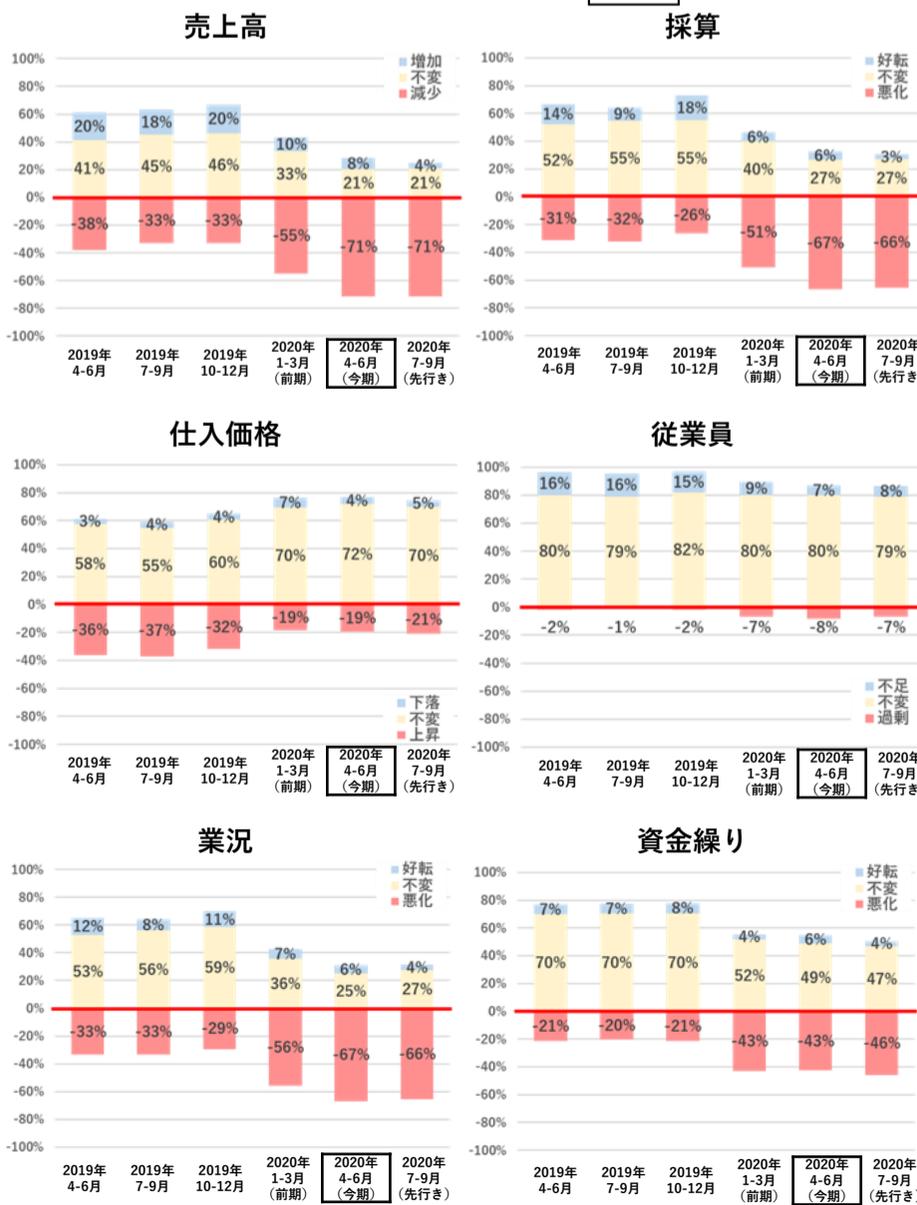
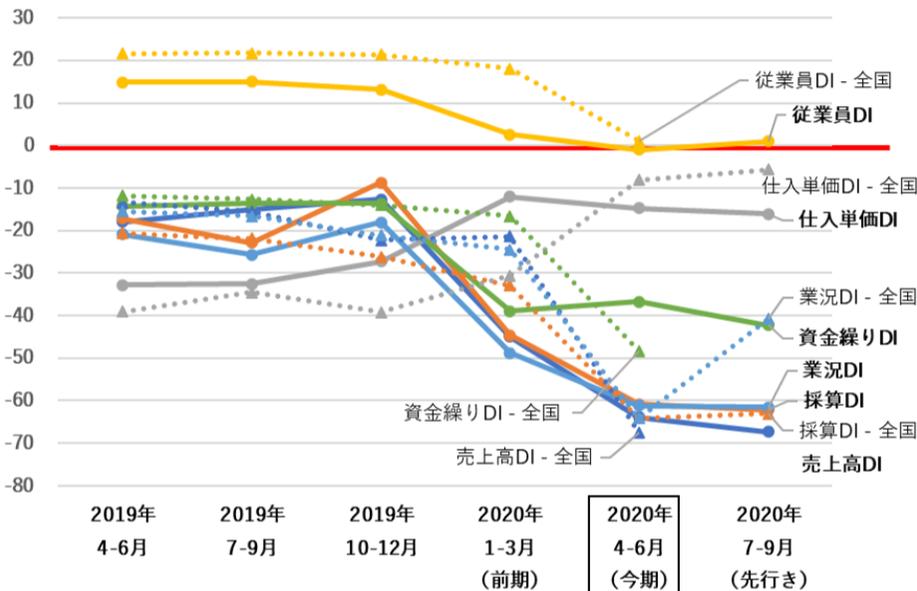
### ウィズコロナ、アフターコロナ対策

※数値は比率(%)  
※赤色・太字の数字は上位5項目

	検討している 全体 (n=291)	実施している 全体 (n=291)
オンラインでの商談、採用（社外リモート化）	8	8
オンラインでの会議、稟議（社内リモート化）	5	7
ペーパーレス化	9	7
キャッシュレス等の電子決済の導入	7	8
社内業務プロセスの自動化（IoT、RPA等）	5	2
データ解析・AI活用	5	1
働き方の再設計（リモートワークの導入など）	9	3
コスト削減・効率化	24	16
新規事業の開発	18	4
既存事業の見直し・最適化	26	9
経営戦略の見直し・シナリオプランニング	14	6
チームワークやコミュニケーションの向上	14	15
モチベーションのコントロール	15	12
健康やメンタルヘルスの管理	25	26
その他	0	1
特になし	11	9

### 全業種DI

今期（4-6月期）、資金繰りDI、仕入単価DI、従業員DIには、前期（1-3月期）からの大きな悪化は見られていない。  
一方、前期30ポイント以上の低下が見られた売上高DI、業況DI、採算DIは、今期さらに10ポイント以上低下しており、厳しい状況が続いている。  
先行き（7-9月）については、売上高DIが今期から約3ポイント低下しているほか、資金繰りDIが約6ポイント低下しており、注意が必要である。



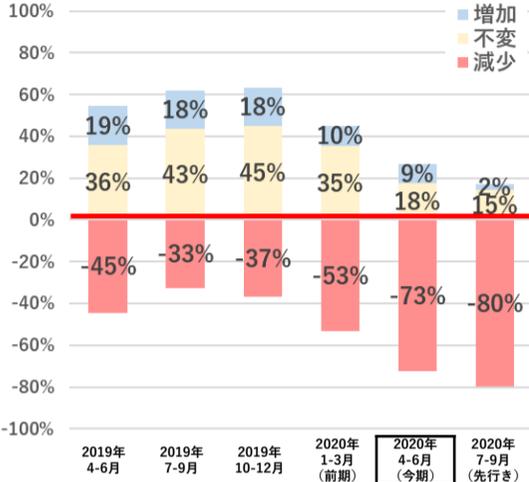
## 業種別景況 (グラフ：売上高)

- 今期 (4-6月)、各業種の中で最も深刻な状況を示しているのは製造業である。製造業では、全てのDIが前期 (1-3月) から悪化していることに加え、売上DI高の先行き (7-9月) が今期から約14ポイント悪化している。
- 小売業は、売上高DI、採算DI、従業員DI、業況DI、資金繰りDIが前期から改善しているため、最悪期を脱した感はある。しかしながら、他業種と比べて、採算DI、業況DI、資金繰りDIが低く、いまだに深刻な状況と言える。
- 前期、小売業に次いで深刻な状況であった卸売業でも、業況DI、資金繰りDIに前期からの改善が見られる。しかしながら、他業種と比べて、売上高DIが低めになっており、いまだに深刻な状況であることに変わりはない。
- 建設業は、他業種と比べて、今期の売上高DI、採算DI、業況DIがそれほど悪い状況ではないものの、ほぼ全てのDIが前期から悪化しているため、深刻な状況である。
- サービス業では、ほぼ全てのDIが前期から悪化しているものの、悪化の幅は小さめ。また、不動産業や運輸業と同様に、売上高DIの先行きに改善が見られることから、最悪期からの脱却に期待が持てる。

### 製造業 (n=124)

	今期	前期比
売上高DI	▲ 63.7	↓
採算DI	▲ 62.1	↓
仕入価格DI	▲ 12.9	↓
従業員DI	▲ 7.3	↓
業況DI	▲ 66.1	↓
資金繰りDI	▲ 37.9	↓

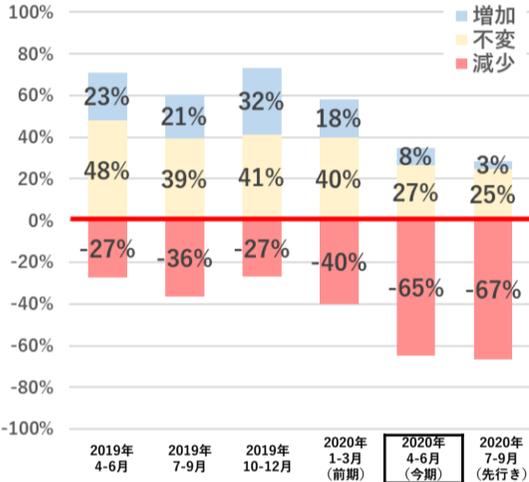
前期から、全DIが低下。特に、売上高DI、採算DI、業況DIが前期から20ポイント以上低下している他、売上DI高の先行きも低下。



### 建設業 (n=60)

	今期	前期比
売上高DI	▲ 56.7	↓
採算DI	▲ 55.0	↓
仕入価格DI	▲ 15.0	↑
従業員DI	8.3	↓
業況DI	▲ 48.3	↓
資金繰りDI	▲ 35.0	↓

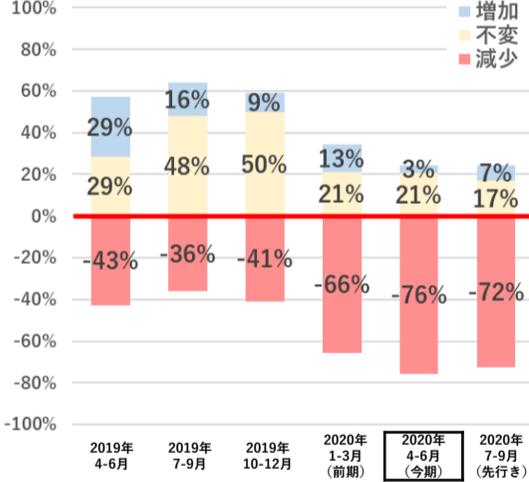
前期から、仕入単価DI以外のDIが全て低下。特に、売上高DI (34.8ポイント低下)、採算DI (25.9ポイント低下) の低下幅が大きい。



### 卸売業 (n=29)

	今期	前期比
売上高DI	▲ 72.4	↓
採算DI	▲ 62.1	↓
仕入価格DI	▲ 10.3	↓
従業員DI	▲ 6.9	↓
業況DI	▲ 58.6	↑
資金繰りDI	▲ 20.7	↑

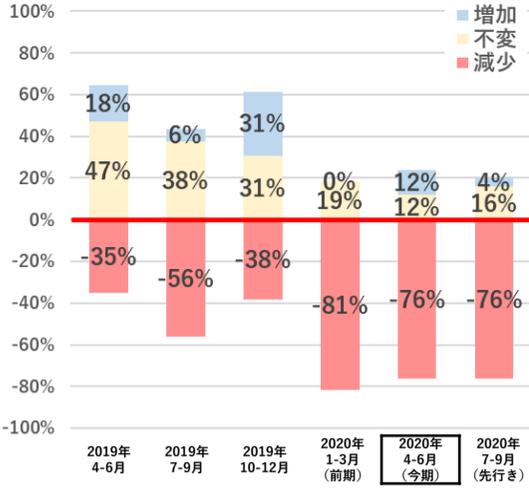
前期から、資金繰りDIに31.9ポイント改善、業況DIに7.2ポイント改善が見られるが、売上高DI、仕入単価DIは約20ポイントの低下。



### 小売業 (n=25)

	今期	前期比
売上高DI	▲ 64.0	↑
採算DI	▲ 64.0	↑
仕入価格DI	▲ 28.0	↓
従業員DI	8.0	↑
業況DI	▲ 68.0	↑
資金繰りDI	▲ 48.0	↑

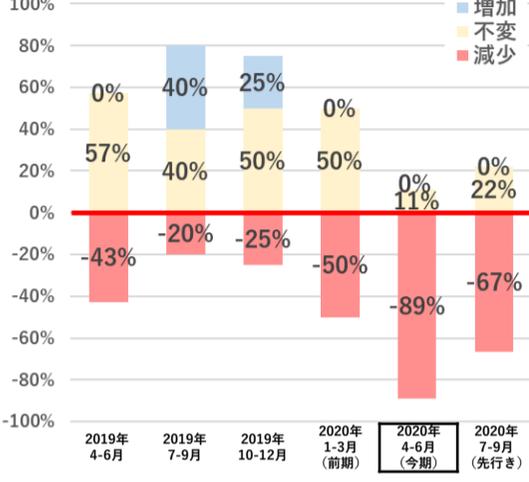
売上高DI、採算DIで約20ポイントの改善が見られるなど、ほぼ全てのDIが前期から改善。仕入単価DIのみ、13.2ポイントの低下。



### 運輸業 (n=9)

	今期	前期比
売上高DI	▲ 88.9	↓
採算DI	▲ 88.9	↓
仕入価格DI	▲ 22.2	↓
従業員DI	11.1	↓
業況DI	▲ 77.8	↓
資金繰りDI	▲ 55.6	↓

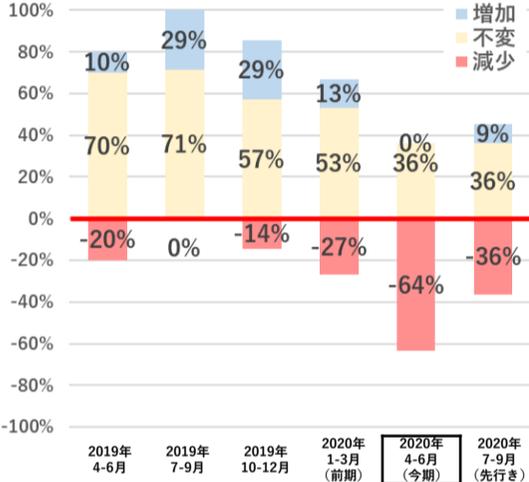
参考値ではあるが、前期から全DIが大幅に低下。ただし、売上DI高の先行きは今期から約20ポイント上昇。



### 不動産業 (n=11)

	今期	前期比
売上高DI	▲ 63.6	↓
採算DI	▲ 54.5	↓
仕入価格DI	▲ 9.1	↑
従業員DI	0.0	↓
業況DI	▲ 45.5	↓
資金繰りDI	▲ 18.2	↓

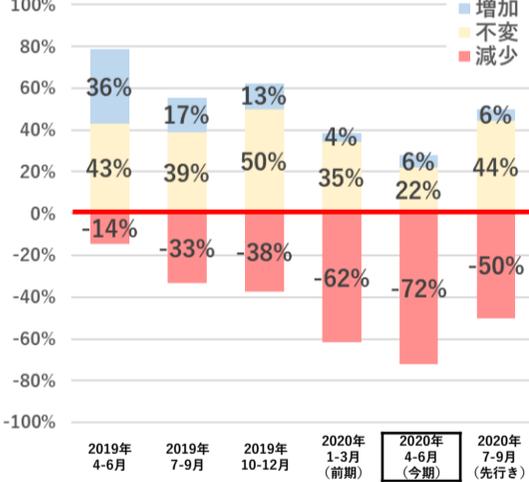
前期から、仕入単価DI以外のDIが全て低下。特に、売上高DI (50.3ポイント低下)、採算DI (34.5ポイント低下) の低下幅が大きい。



### サービス業 (n=18)

	今期	前期比
売上高DI	▲ 66.7	↓
採算DI	▲ 61.1	↓
仕入価格DI	▲ 16.7	↑
従業員DI	▲ 5.6	↓
業況DI	▲ 66.7	↓
資金繰りDI	▲ 44.4	↓

前期から、仕入単価DI以外のDIが全て低下。ただし、低下幅は全て10ポイント未満にとどまる他、売上DI高の先行きも上昇。



## 業種別景況に関するご意見・事例、および要望 ※一部抜粋

- |     |  |
|-----|--|
| 製造業 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● コロナ禍で売上は35%ダウン、非常に苦しい。何とかコスト削減と休業を上手く使って乗り切れるよう工夫している。</li> <li>● このまま経済活動が停滞すると、会社の規模を縮小しなくてはならないかと思う。</li> <li>● 機械加工業のためテレワーク不可。この時期、新しい会社も開拓できず、先が見えない。赤字のため賞与も出せず、従業員への給料も苦しい。借りても返すことが出来ない。</li> <li>● コロナの状況が長期化すると、8月以降ますます仕事量が落ち込む事が心配される。</li> <li>● BtoC向けの商品の検討、開発を全員で考える事に注力している。</li> <li>● 製造業なので機械を稼働させないと仕事にならない。テレワークや勤務体制の見直しはできない。コスト削減やデータ化などができるので、今後検討していく。</li> </ul> |
| 建設業 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 納入先がホテル、旅館、老人ホーム等なので非常に難しい状況。</li> <li>● 現場作業が主なので、今まで以上に健康に気をつかい、少しの不調でも休ませるようにしている。</li> <li>● コロナの“長期化”に対する企業での心構え、対策のセミナーを是非早急に開催してほしい。</li> </ul>  |

- |       |  |
|-------|--|
| 卸売業   | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 業種によっては取り組み方はあると思うが、現状、先行きは不透明な事ばかり。成り行きに任せ、時に応じて対応していく。</li> <li>● 以前の社会には戻らないので、新しい仕事のやり方を模索中。</li> </ul>   |
| 小売業   | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 新型コロナウイルスにうつらない様に注意して仕事をしている。</li> <li>● 小売業なので手の消毒等をやり、TELでの注文を多くしている。</li> <li>● 旅行業界にはGoToキャンペーンなどがあるが、小売業には何もない。</li> <li>● 税金の減免(手続き)等、HPでの詳細掲載をお願いしたい。</li> </ul>           |
| 運輸業   | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 従業員を減らし、コスト・経費の見直しをしている。</li> <li>● 6月中迄より物流の減少がみ。</li> </ul>   |
| サービス業 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● コマーシャルの方法を模索している。オンラインレッスンなどオンライン活用、LINE、YouTube。</li> <li>● 入出庫時の車両への消毒及びカバー取付。来店時の距離及び時間等、電話やメール、リモート等での対応をし、接触を避ける。</li> <li>● イベントもプライベートも研修も全て延期やキャンセルで売上0が続いている。</li> </ul> |